

2016-11-15  
No.991 250円

# 思想運動

活動家集団 思想運動

発行・小川町企画 〒113-0033 東京都文京区本郷3の38の10さかえビル2階 ☎03-3818-6671 FAX03-3818-3199 (郵便振替)00190-0-758235  
小川町企画・関西連絡先 ☎080-4700-6461  
HP <http://www.shiso-undo.jp/>  
購読料:年間6,000円 半年3,000円(送料共)

戦争へと続く道NO！ 労働者一步前へ！  
11・29安倍政権打倒労働者集会に結集を！

(詳細3面)



【朴槿恵は即刻退陣せよ！】 11月12日、韓国・ソウル都心で行なわれた朴槿恵退陣民衆総決起のろうそくデモには126万人（ソウル市発表）が立ち上がった。これに呼応して同日、全世界30都市で朴槿恵退陣の集会・デモが行なわれた。日本では、韓統連・韓青同・民主女性会・学生協が兵庫・大阪・愛知・東京で街頭宣伝を行ない、さらに東京では駐日韓国大使館前で抗議文を読み上げ、朴槿恵退陣のシュプレヒコールをあげた。(撮影=土松克典記者、関連記事2面)

## 自衛隊の南スーダンPKO派兵・戦争法発動を糾弾する！

### 野蛮を生み育てる、母胎としての対決を

昨年成立が強行された戦争法のひとつ、PKO改悪法が発動・実施されようとしている。陸上自衛隊第九師団第五普通科連隊を、南スーダンPKO (UNMISS) 第一一次隊として派兵することを、政府は十一月十五日閣議決定し、二十日にも南スーダンの首都ジュバへ派兵しようとしている。今回の部隊から、戦争法にもつぐ「駆けつけ警護」「宿営地の共同防護」が「新任務」として付与され、武器使用とその範囲が格段に拡大する。

南スーダンは首都周辺を含めて戦闘状態にあり、「PKO参加五原則」の前提が完全に崩れていることは、マスメディアの報道からも明らかである。また戦争法の発動は、自衛隊のみならず、日本の労働者・人民を戦争に加担させ動員する道を大きく開くことを意味する。

わたしたちは、多くの仲間とともに戦争法廃止を求め、違憲・違法の派兵に反対してきたが、厳しい現実が直面している。自衛隊が南スーダンの人ひとに銃口を向ける未来が迫っている。この状況は、わたしたちに自身の運動のあり方・拠って立つ思想のあら返りを求めている。

野蠻はなぜ野蠻か  
国会では、安倍政権が、破廉恥、無惨ともいふべき野蠻な行いを繰り返している。昨年、野蠻な行いを繰り返している。可能性が高まる、自衛隊が「殺し殺される」事態に直面している。野蠻を生み育てる母胎としての対決を

最大限利潤の追求という根本的欲求にもとづいて、政府・独占資本は国際戦略・国内戦略を練り上げ、緻密かつ組織的に動いている。母胎が無傷である限り、政界がすげ替えられてもこの基本路線は変わらない。武力行使のできる「人殺し」の自衛隊の海外派兵は、歴代の自衛隊時代において民主党政権時代においても、常にその実現が望まれた最重要課題であった。なぜか？ グローバルに展開する日本資本を軍隊によ

つて守るためだ。帝国主義が権益を守り拡大するためには、武力をもってそれを支える真正の軍隊（人殺しのできる軍隊）が必要だ。安倍たちはすべての命に冷たなわけはない。資本家階級の利害に有益にはたらく者の命は徹底的に守る。その選別・線引きの分け目が、資本家階級の側に立つか、労働者階級の側に立つかの分かれ目だ。階級という言葉は、いまはなじみのない言葉かもしれない。しかし、安倍政権の野蠻を批判するために、階級という概念が不可欠だ。

わたしたち労働者・人民の命は、かれらにとつての「歩」だ。その実例は、残虐きわまりない沖縄への弾圧、朝鮮学校への攻撃、福島の原発被害者の切り捨て、第一原発被害者の切り捨て、養民化など枚挙にいとまがない。わたしたちはヒューマンな怒りを、階級的な怒りへと質的に高めることにより、かれらの行為をけはなす、かれらの本質を批判・打倒することが出来る。それが、かれらの暴走を止める運動の真の原動力になる。

それを念願の明文改憲へのスプリングボードにする。そうした事態を幸ひして免罪を誇示し、次なる「飛躍」に拍車をかけてくるに違いない。

かれらは、戦争にこそ自らが生き残る活路を見出し、帝国主義的覇権の維持・拡張に執念を燃やしている。それが米日・中の経済力の逆転時代を迎えた現在において安倍政権が存在する本質であり、憲法改悪、日米同盟強化、派兵国家化を必要とする根本理由である。こうした政治・経済体制を自らの打破をめざさない限り、戦争法廃止も政権打倒もできない。同じ「安倍政権打倒」をかかげたばかりであるように見えても、資本家階級を射程に入れるか入れないかで運動の組み方、議論、集まる人びとに訴えかける内容すべてが違ってくる。資本主義の枠を突き破り社会主義の実現をめざすたかひを創り出す。その方策を練るための議論と実践を、わたしたちはすべきだ。

【今号の主な内容】

- <沖縄> 沖縄ですすむ日米一体化の実像(日向よう子).....2面
- <労働> JAL争議団集中闘争/韓国サンケンの不当な整理解雇を撤回せよ!... 3面
- <大衆運動> ロシア十月社会主義革命九九周年記念集会開かれる ..... 4面
- <国際> 連載「日本の戦後補償」を読む(佐々木辰夫) ..... 6面
- <追悼> 内田宜人さん / <文化> 「秩父困民党・一八八四年」菅原司さんに聞く⑤ ..... 7面

『思想運動』『社会評論』読者拡大運動実施中！  
☆『思想運動』『社会評論』を購読される方をご紹介ください  
☆同封の紙つぶて用ハガキ・新リーフレットをご活用ください